

稲荷川

いな い がわ



①小村橋



●小村橋付近の環境について(稲荷川中流)

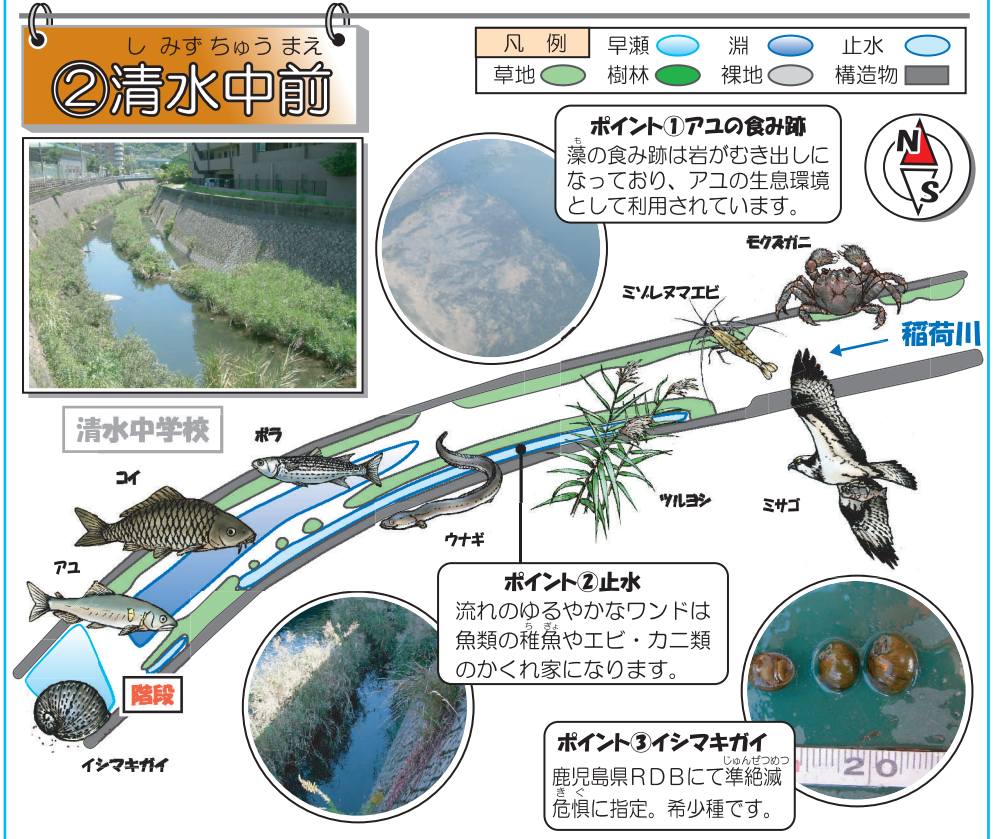
早瀬や淵、水際植物(ツルヨシ群落など)がバランス良く見られます。早瀬は底生動物やオイカワ、淵はカワムツ、水際は稚魚やエビ・カニ類など、それぞれの生態に合った環境に生息しています。川岸の樹木や草は、カワセミの休息や狩りに利用されているようです。

稲荷川データ

- 源流: 宮之浦町
- 長さ: 約14.6km
- どこを流れているの?
宮之浦町、川上町、坂元町、稲荷町など

稲荷川は、鹿児島市の北、宮之浦町から流れ出る2級河川です。主に田園地帯を流れ、滝之神浄水場で一部取水された後、鹿児島湾にそそぎます。上流の倉谷地区は豊富な湧き水があり、まわりはホタルの群生地として知られています。

②清水中前



●清水中前の環境について(稲荷川下流)

河口が近いので、汽水域に多いイシマキガイやボラが確認されています。巨石やツルヨシ群落による止水域は、外敵の多いテナガエビ類やヌマエビ類のかくれ家として重要です。なお巨石には、アユの食み跡がついており、アユの良好な生息環境としても評価できます。